

2019年度第2回（通算第103回）
山口国際文化化学研究会

■ 演 題

Humanities Education Today: the view from Boston University and the US

人文教育の今日：アメリカならびにボストン大学の視点から

■ 発表者 セリグマン・アダム 教授

■ 通訳 尊田 望 先生

近年、世界や日本において人文教育の危機が叫ばれて久しい一方で、リベラル・アーツ教育の重要性が唱えられるなど、人文科学における教育研究の意味や意義についてさまざまな議論がなされています。米国ボストン大学宗教学科で長年教鞭をとり、同大学院プログラムのリーダーとして研究指導をとりまとめているセリグマン教授から、人文教育の今日の様相についてお話を伺います。さらに、質問を重ねつつ、リサーチ・コロキウムという言葉が示すように、報告者と参加者が会談するような自由な雰囲気の中で人文という領域の教育研究について考える機会を持ちたいと思います。

セリグマン先生の著書

The Idea of Civil Society (1992), Inner-worldly Individualism (1994), The Problem of Trust (1997), Modernity's Wager: Authority, the Self and Transcendence (2000), Market and Community (2000), Modest Claims, Dialogues and Essays on Tolerance and Tradition (2004), Ritual and its Consequences: An Essay on the Limits of Sincerity (2008), Rethinking Pluralism: Ritual, Experience and Ambiguity (2012), Living with Difference: How to Build Community in a Divided World (2016), and most recently How Things Count as the Same: Memory, Mimesis, and Metaphor(2018).

■ 日 時 2019年6月26日（水曜日）16時25分より

■ 場 所 北キャンパス B202 教室

■ 主 催 山口県立大学大学院国際文化化学研究科

当日で自由にご参加ください（無料）

教員世話人 山口 光 / 院生世話人 辻本梨紗、王曾芝、木谷 曜子、下川 まつる